

平成29年度 第1回宇都宮市総合計画審議会（全体会） 会議録

■ 日 時 平成29年3月21日（火）午後3時20分～午後5時00分

■ 場 所 宇都宮市役所14D会議室

■ 出席者

1 委 員

荒牧委員、生垣委員、石井委員、馬上委員、小高委員、金枝委員、蟹江委員、
金田委員、北村委員、郷間委員、小平委員、小林委員、清水委員、関野委員、
高橋委員、田村委員、網河委員、中島委員、中野委員、藤原委員、船津委員、
細谷委員、三尾谷委員、水越委員、三宅委員、山島委員、横尾委員、横松委員、
渡邊委員、渡辺委員

（五十音順）

2 事務局

総合政策部次長、政策審議室長、政策審議室総合計画担当主幹、政策審議室長補佐、
政策審議室係長、政策審議室担当者

■ 会議経過

1 開会

2 市長あいさつ

- ・ 第1回宇都宮市総合計画審議会開催にあたりまして、一言あいさつを申し上げます。
- ・ 皆様方には、委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・ 特に、審議会の前でありました、宇都宮市市民懇談会におきましてもお力をいただいた方が大勢います。21名もの方が継続してこの審議会にも参加していただいております。約80%の方がそのまま審議会に移行していただいております。また計画づくりにお力をいただくこととなります。改めて深く御礼を申し上げます。
- ・ もう既に皆様方も御存知のとおり、この国は、人口減少そして大変な超高齢化社会を迎えています。何の手も打たなければ、宇都宮市も2050年には人口が約45万人まで減り、老年人口についても、2050年には約40%近くに増加するという事になります。
- ・ 他県の市町村では、肩車状態というような時代に突入してまいりました。社会自体がそれで実際に持続できるのかということを考えていかなければいけないという時を迎えたわけでありまして、宇都宮市はもう既に12年前から、とにかく人口が減っていくこと。高齢化社会がやってきて、社会自体を変えていかないと、下で支える現役の人たちも持たないということもありますし、社会自体も持続できないだろうという

ことで、人口減少・高齢化社会を見据えた計画的なまちづくりを進めてきました。

- ・ 今更驚くわけではありませんけれども、きちんとこれに対処して、社会の構造を変えていくとともに、下で支える人が支えやすい社会を作っていくと、私はこの国もこの地域も将来・未来はないと考えています。
- ・ この総合計画はまちづくりの羅針盤であります。是非、その羅針盤を作る過程において、皆様方にお力をいただきたいと思えます。
- ・ 都市像の実現ということでは、人口の自然増、そして社会増を作っていくとともに、当然、先ほど申し上げた支えやすい社会という都市構造に変えていくこと。そして、人や企業から選ばれるという宇都宮を作っていくということ。そのようにしてなんとか人口を維持するとともに、支えやすい都市構造に変えていくことが必要になります。
- ・ 是非、市民の皆様方、そして有識者の方々、また関係団体の方々の英知を結集いたしまして、この我々が初めて体験する、今の国、今までの先人たちが誰も経験したことのない人口減少と超高齢化社会をいかに乗り越えていくか。是非お力をいただきたいと思えます。
- ・ 明治維新、あるいはそれ以上になる大きな改革・変革を我々は求められているものだと思います。次の世代のために新しい社会を皆さんで作ってまいりたいと思えますので、御支援・御協力のほど、お願いいたします。
- ・ どうぞ皆様方、よろしくをお願いいたします。

3 出席者紹介・委員委嘱

4 会長・副会長の選出

(宇都宮市総合計画審議会規則に基づき、山島会長、小林副会長、渡邊副会長を選出)

(1) 会長あいさつ (山島会長)

- ・ この総合計画審議会は、市の全体の方向を示す、非常に重要な審議会であります。今日、ここにお集まりの多くの方が、市民懇談会から参加していただいているということですが、市民懇談会では本当に熱心に、宇都宮をどうしていくかということで、非常に熱い議論がされたところでございます。
- ・ 宇都宮市は今まで色々な施策をやってきて、「住めば愉快だ」「選ばれるまち」ということで努力してきているわけですが、これからは、先ほど市長からお話がありましたが、非常に厳しい時代の中で宇都宮を発展させていく必要があるわけで、そのためには「選ばれるまち」となるような立派な方向性を、皆様の意見を踏まえながら作りあげていかなければならないと考えております。
- ・ 市民懇談会でも本当に熱い議論が行われたところでもありますけれども、是非、この審議会においてもたくさんの意見をいただいて、宇都宮の将来が見えるような素晴らしい計画を皆さんと一緒に議論して作りあげていければと考えております。どうぞよろしくをお願いいたします。

(2) 副会長あいさつ（小林副会長）

- ・ 議会でも、計画につきましてはさまざまな議論がなされたところでございます。
- ・ 今回、副会長という立場で会長を支えながら良い計画ができるようがんばってまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

(3) 副会長あいさつ（渡邊副会長）

- ・ 先ほど、会長からもお話がありましたとおり、市民懇談会では非常に活発な議論がされました。
- ・ この審議会でも、また宇都宮の発展のために、皆さんと一緒に活発な議論ができればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

5 議 事

会 長

- ・ それでは早速議事に入ります。「2. 宇都宮市総合計画審議会について」と「3. 分科会設置及び分科会会長選出について」を一括して事務局から御説明いただきます。

事務局

- ・ 事務局から資料を説明

会 長

- ・ ありがとうございます。事務局に分科会のメンバー及び分科会長の案があれば説明してください。

事務局

- ・ 事務局から資料を説明

会 長

- ・ この案で宜しいでしょうか、ではこの形で分科会を進めていきたいと思えます。
資料2. 資料3. を通じて御質問あればお願いします。
それでは具体的な中身の「資料4. 総合計画作成に当たっての基本的な事項について」事務局より説明してください。

事務局

- ・ 事務局から資料を説明

会 長

- ・ 資料説明ありがとうございました。この段階で御質問があればどうぞ。よろしいですか、どうもありがとうございました。

- ・ それでは第5番目の「今後の審議内容及びスケジュールについて」資料5.と6.の御説明をお願いします。

事務局

- ・ 事務局から資料を説明

会長

- ・ どうもありがとうございました。これからの作り方、スケジュールなど説明いただきましたが、意見要望等ありましたらお願いします。

委員

- ・ 今後のスケジュールの中で、市民、各種団体等からの意見を伺うということがあり、どういった団体に意見を聴けばいいのか、意見を聞く場で誰がファシリテーションするかなどを各分科会で協議する時間がとれるといいと思います。

会長

- ・ 進め方などは分科会で説明されると思います。事務局には、御検討いただければと思います。他にいかがでしょうか。

委員

- ・ 12月のスケジュールにパブリックコメントをあげるとなっていますが、結局は専門家の皆さんが興味を持つだけになるのではないかと思います。一般の方々が計画の作成プロセスの中で意見を述べる機会は、現状でこのパブリックコメントだけなのでしょう。他に方法論等が事務局であれば聞かせていただきたいと思います。

事務局

- ・ どういった層の意見が足りてないのかという分析も必要なのかと思います。世論調査等を実施すると20代の方は特に戻りが少ない現状です。世代別と分野別・地域別などいくつかの案をお示しして意見交換という手法を時間の取れる限り実施します。アンケートについても、信頼性の高い手法を用いて実施します。なお、パブリックコメントのあり方を今後どのようにしていくかというのは未定であります。

会長

- ・ 審議会には各代表の方がおられますから、パブリックコメントのときに、案を各自持ち帰って議論し、ここで反映してもらうのが一番現実的だと思います。パブリックコメントはそんなに多く意見が出て来ることはないと思います。具体的に聞いていかないと難しいところだと思うので工夫して欲しいと思います。

委員

- ・ 若者からのアンケートについて、大学の先生方の力をお借りして、参考意見として結構だと思いますが、プロセスを歩んでいく上でどのように考え方を持つかということも聴けたらいいなと思います。また、先ほどの意見にあったように女性の委員さんがいないという事で総合計画を組み立てていく段階で、女性の視点でどういう風に受け止めるのか、各メンバーの皆さんに加え関連団体等の女性の意見があれば聞けたらいいと思います。

会長

- ・ まだ時間がありますので、できたら市民懇談会に参加していなかった方に意見いただきたいと思います。

委員

- ・ 総合計画という最上位計画の視点を大切にしながら、今後のまちづくりの方向性を作っていきたいと思います。

委員

- ・ 今日の御説明だけでは、今ひとつ掴み切れていませんが、目標としてはどうやって住みやすいまちづくりをしていくのかという方向性は間違いなく見えるところですので、そういったところで少し勉強させていただきたいと思います。

委員

- ・ 議会では第3分科会で教育と経済をやっておりますので、その際に出た意見を分科会等と言わせていただければと思います。

委員

- ・ 第2分科会で勉強させていただきましたけれども、審議会においても引き続きまた取り組んでいきたいと思っています。

委員

- ・ 第1分科会で副会長というお役目をいただきました。私は第5次総合計画の後期計画の策定の時にも委員として参加した記憶があります。また引き続きこのような場で発言させていただく機会があり、光栄に思います。こうして将来の状況をけっして悲観することなく、前向きな危機感を持って多様な視点から議論を進めさせていただきたいと思っています。

委員

- ・ 非常に大変な問題だと思います。優先順位をつけていかなければいけないと思います。優先順位をつけるということは、今までの色々な価値観を捨て去らないと先に進まないと思います。それができるかできないかと思っています。

委員

- ・ ほとんどのメンバーの方々が総合計画の市民懇談会のメンバーということでそれほど心配はしていません。これだけ各会の代表の方が集まると分科会において、なかなか遠慮して話ができないとか、自分の意見が言えないとかがあろうと思います。やはり、メンバーの皆さんが遠慮しないで、それぞれの立ち位置から自分の考え方をしっかり話すこと、そして願わくは楽しい雰囲気の中で色々なことを話し合えば素晴らしい会議になるのではないかと思います。

委員

- ・ 二つあります。まずは、資料3にあります分科会でそれぞれの目的等がございますが、この会における最終ゴールはどこにあるのでしょうか。皆が共通したゴール、そこに向かって話を進めていかないといけないと思います。ゴールが複数あると良い意見が出てもまとまったものになりません。人口減少の歯止めをかけるという消極的なことをゴールにするか、あるいは将来の夢に向かったことをゴールにするのか、こういう風な宇都宮市にしたいというゴールを知りたいと思います。もう一つ、宇都宮市は暮らしやすきナンバーワンの市になりました。これは非常に良いことです。私は宇都宮市に来て9年目でとても暮らしやすく非常にいいところだと思います。老人パワーというのは、活用次第ではすごいパワーになると思います。コスト的にもリーズナブルな、あるいはフリーな形ででも利用できると思います。そういったことも考えた方が良くと思います。

会長

- ・ 全体の方向性は第2回で基本構想の考え方というのが出てきて、それを概ね一致して分科会に入っていくといった形です。次回ではそういった基本のところを議論する予定です。それでは両副会長お願いします。

副会長

- ・ データをどういう風を読むか重要であって、今までの見方で良いのかどうか課題です。また新しいデータもでてきており、その辺をきっちり整理していくことが重要だと思っています。

副会長

- ・ 懇談会で、横断的課題というのがたくさんあって、今3分科会となっていますが、その分野だけではなく、横断的に視野を広げて議論する視点は重要であると思っています。委員の皆様にも御認識いただければと思います。

会 長

- ・ 懇談会の意見書を見ていただくと、「分野横断的に」とたくさん入っています。それは繋げていけばいいと思います。
- ・ 一つだけ気になったところがあります。中身は非常にいいのですが、全体の構成がちょっと読みづらい部分があります。できるだけ多くの市民の方に理解していただきたいので、読んでスッと入る様な工夫をして整理していただきたいと思います。次回もう一回全体会をやりますので、基本構想の考え方や全体の作り方について御議論をいただきたいと思います。

事務局

- ・ 時間となりましたので終了と致します。

以上